

## 「川島町子育て支援拠点施設等整備計画」(案)の概要に対する意見と町の考え方

○提出者数 3名

○提出件数 6件(同様意見を1件としています)

○提出意見と町の考え方

**提出意見1**：児童館あるいは親子で気軽に集まることのできる子育て支援拠点施設の整備が多くの保護者から望まれているとありますが、具体的に教えてください。

**町の考え方**：川島町次世代育成支援行動計画(後期計画)策定のために実施したニーズ調査では、次のとおり回答をいただきました。

○川島町の子育て支援において必要な支援・対策について

児童館あるいは親子で気軽に集まることのできる場の設置が必要

就学前(回答者数346人)：65.9%(約228人)

就学後(回答者数280人)：43.6%(約122人)

**参考**：就学前配付数：747人、就学後配付数：653人

また、川島町子ども・子育て支援事業計画策定のために、平成25年度に実施したニーズ調査における閉園後の町立川島幼稚園施設の活用方法についても、次のとおり回答をいただきました。

○児童館としての活用

就学前(回答者数300人)：75.0%(約225人)

就学後(回答者数248人)：71.4%(約122人)

○地域子育て支援センターの活用

就学前(回答者数300人)：28.7%(約86人)

就学後(回答者数248人)：21.0%(約52人)

**参考**：就学前配付数：633人、就学後配付数：452人

このように多くのかたから要望をいただいております。

**提出意見 2** : 施設の具体的な利用イメージを教えてください。

**町の考え方** : 子育て支援拠点施設については、子育て中の全てのかたが、利用できるような施設を考えています。

**具体的には**

○乳幼児及び保護者・・・地域子育て支援センター

内容：育児相談、育児サークル活動、乳幼児向けのあそびなど

○就学後児童（18歳まで）・・・児童館

内容：児童の学習の場の提供、児童の遊び場の提供

○小・中学生及び保護者・・・スクーリング・サポートセンター

内容：教育相談、適応指導教室

今後も、様々なかたのご意見を伺いながら、利用時間等、具体的な利用方法を決定していきます。

**提出意見 3** : スクールソーシャルワーカーについて

**町の考え方** : スクーリング・サポートセンターは、現在、教育相談と適応指導教室を実施しています。教育相談は、電話相談や面談をはじめ、3人の相談員が分担して各小学校を月1回訪問し、教師や保護者からの相談を受けたりしています。

また、適応指導教室は、学校に行けなくなってしまった子の復帰支援をするもので、平日の午前中にスクーリング・サポートセンターまで児童生徒がきて活動しています。

不登校児童生徒の中には、子供自身の問題というより保護者の経済状況や就労状況などの生活面に起因する問題によって、不登校になってしまうケースもないわけではありません。

現在、スクーリング・サポートセンターの相談員やさわやか相談員、スクールカウンセラーなどが連携しながら、相談対応をしていますが、今後は、スクールソーシャルワーカーによる対応も考えていく必要があると考えます。

**提出意見 4** : 施設の利用時間等について

**町の考え方** : できるだけ多くの子供たちに利用してもらわなければ施設の価値がありませんので、利用時間や利用方法など、さらにご意見をいただきながら決定していきます。

**提出意見 5** : 児童センターや子育て支援センターは予約なしでも使えるようにしてほしいです。

**町の考え方** : 不特定多数のかたが利用する施設ですので、利用者の安全を踏まえつつ、予約なしでも利用できるよう検討していきます。

**提出意見 6** : 複合施設ですので、アクセス方法について、デマンド交通なども含め、検討してください。

**町の考え方** : 現在、公共施設に限らず、町内の交通手段について検討をしています。